

今回は、第3回 ダイバーシティSEKIシンポジウムの報告です。

## ◇ 当日までの経緯

2016年8月、関市はLGBTフレンドリー宣言を発表しました。以後、今日にいたるまで、「性の多様性を認め、すべての市民がお互いを尊重し合い、誰もが自分らしく暮らせること」をめざす様々な取り組みが行われています。この年、この宣言に賛同した関高生有志が、啓発活動を開始しました。2018年、2019年には、関市わかきプラザでシンポジウムを主催し、多くの方々に参加していただきました。昨年度はコロナ禍のため、中止せざるを得ませんでした。本年度は当初よりウェブ会議システムを活用したオンラインイベントを企画し、50名の参加者を得て実施しました。

## ◇ 当日の様子

日時：2021年7月4日（日） 13:00～15:40

主催：関市 関高等学校 中部学院大学

スケジュール：

- ・総合司会 丸山愛未さん（関高校3年）
- ・加納晶さんの講演 「ろう者・性的少数者」からのメッセージ
- ・高校生の発表 啓発用のパンフレットと漫画の作成報告  
 瀬瀬菜月さん、吉田華菜さん、田口琴音さん（関高校3年）
- ・トークセッション  
 水野友有さん（中部学院大学） 早川寛明さん（早川工業株式会社）  
 加納晶さん 瀬瀬菜月さん 吉田華菜さん 田口琴音さん

「ろう者」と「性的マイノリティ」のダブルマイノリティである加納さんからは、自身の体験から、ありのままにいられる多様性のある社会をめざそうとの提言がありました。

関高生のグループは、1年次の「総合的な探究の時間」で企画した啓発用パンフレット・漫画を完成させ、それまでの経緯を含め発表しました。当事者や自治体職員の方々の助言を参考にしながら、小中学生を対象としたわかりやすい仕上がりを目標としました。

制作したパンフレットと漫画は、印刷の上、関市内のすべての小中学校の教室、図書館、保健室に配布される予定です。また、市役所や市立図書館のカウンターでも入手可能となります。

トークセッションでは、中部学院大学の水野友有さんにモデレーターを務めていただきました。早川工業株式会社代表の早川寛明さんからは、「多様性こそ成長のカギ」という経営方針や、障がい者雇用の積極推進などの現状をうかがいました。

地域連携によるこのシンポジウムは、次年度も実施する予定です。

